

【T&S Monthly News 潮風みらい通信 2026年1月号】

今月のメニュー

1. 今月の特集：第10回定時株主総会
2. ビジネス・プログレス：T&S システム開発事業本部について
3. TSSS(T&Sショートショート)：企業調査レポートの発刊
4. 今後のスケジュール

いつもお読みいただき、ありがとうございます。2026年が始まりました。本年も T&S Monthly News を通じて、様々な情報を発信してまいります。引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

今月の潮風みらい通信は、第10回定時株主総会についてご説明します。ビジネス・プログレスでは、T&S のシステム開発事業本部について、TSSS では企業調査レポートの発刊についてご紹介します。



1. 今月の特集：第10回定時株主総会

昨年12月24日(水)に当社第10回定時株主総会を開催いたしました。当日は生憎の天気となりましたが、株主の皆様にご出席いただきまして感謝申し上げます。ご出席の皆様に直接、事業報告などについてお伝えできたことを嬉しく思います。株主様からいただいたご質問については、代表取締役の武川より下記のとおり回答申し上げました。

Q: 株価がなかなか上がりらず、上がってもすぐに下がる状況が続いているが、株価対策はどうなっているのか。株価を意識して経営を行っているのか。

A: まず、私自身大株主の一人として、株価の動きについては重大な関心を持っております。前期については、当社の業績は順調に推移しており、特段マイナスとなるような要因はないものと認識しております。しかしながら、東証株価指数は上昇を続けているものの、当社が上場しているグロース市場が、円安や物価高等による影響で伸び悩んでいる状況が長く続いている、巻き込まれる形で株価が伸び悩んでいるものと分析しています。

ただし、年初来より株価の上昇は続いているが、業績やIRの内容を評価いただいていると考えていること、さらに、現在、自己株式の取得を行っていることも踏まえると、一時的に下がっても全体としては上昇基調なのではないかと分析しています。

株価は市場の需給のバランス等様々な要因により形成されるものとはいえ、現在のPER約20倍、PBR約4倍という水準は、まだまだ上げられると考えております。

先程もご説明いたしました、横浜キャピタルとの事業提携も活用しながら、2031年に向け、売上高100億円、EBITDA20億円を達成することによって、時価総額300億円を狙ってまいります。

どうか、業績や将来性といった当社の本来の企業価値に注目していただき、中長期的な視点をもって見守っていただければありがたく存じます。

ご質問頂きましてありがとうございました。

なお、決議の結果は、当社IRサイトに掲載しておりますので、こちらもどうぞご覧ください。

第10回定時株主総会決議ご通知：<https://www.tecsvc.co.jp/ir-info/meeting/>

ご出席いただいた株主の皆様、誠にありがとうございました。今後も、当社に格別のご支援賜りますようお願い申し上げます。



2. ビジネス・プログレス：T&S システム開発事業本部について

当社グループの中核事業会社であるティアンドエス株式会社には、システム開発事業本部と IT サービス事業本部という主力事業本部があります。今回は、このうちのシステム開発事業本部について、その特徴及び現在注力している開発案件についてご紹介いたします。

○ システム開発事業本部の特徴

システム開発事業本部の特徴はトータルソリューションの提供です。

お客様のオンサイト／オフサイトの両方で、弊社チームが要件定義～運用保守までの業務を提供しています。開発工程はオフサイトで行い、受入テストから運用、アプリケーションインフラまではオンサイトで対応します。

お客様側と開発側の作業を総合的にサポートすることで、両面からの情報供給が容易となり運用保守、開発において最大限のパフォーマンスを発揮することができます。



○ システム開発トピックス

現在、Alfresco(アルフレスコ)をベースとしたシステム開発に注力しています。Alfresco は企業や組織において構造化されていないファイルやドキュメントなどのデータを管理し、検索、関連付け、アクセス制限、バージョン管理などの機能を提供する基盤です。また、業務プロセスと紐づけて多様なコンテンツを一元管理するプラットフォームでもあり、コンプライアンスや情報ガバナンスの強化を支援します。現在、システム開発事業本部では Alfresco を用いて下記のシステム開発を行っています。



システム概要

- ・EPC※1(設計・調達・建設)などのプロジェクトの図書管理
- ・プロジェクト図書※2における、作成、承認、授受(送付、受領)などの管理

※1 EPC は Engineering(設計)、Procurement(調達)、Construction(建設)の頭文字をとったもので、大型設備やプラントの建設に関する用語です。

※2 プロジェクト図書は、計算書、検討書、設計図(図面)などを指します。

技術要素としては SPA(シングルページアプリケーション)形式の Web システムです。フロントエンドが Angular フームワークを使用した TypeScript 言語での開発、バックエンドは Spring フームワークを使用した Java 言語で開発しています。Alfresco をベースとした開発は始まったばかりですが、開発は順調に進んでいます。システム開発事業本部では「Alfresco をベースとしたソリューションサービスの提供」を今後の目標として日々取り組んでいます。

3. TSSS(T&Sショートショート) :企業調査レポートの発刊

ティアンドエスグループ株式会社(以下当社)をカバーする調査レポート発行会社はフィスコ社、シェアードリサーチ社の2社です。先日、フィスコ社による当社レポートが発行されました。当社への理解を深めていただけるのではないかと考えておりますので是非ご覧ください。

[2025年9月期は過去最高業績を更新。新たに長期ビジョン策定 | 企業情報 FISCO](#)

FISCO
企業調査レポート

4. 今後のスケジュール

- ✧ 2月 12 日 2026年 9 月期 第1四半期決算発表(15時30分)
- ✧ 2月 18 日 T&S Monthly News 潮風みらい通信 2026年 2 月号発刊

それでは来月号もよろしくお願ひします！

メール会員募集中です。

登録はこちらから ⇒ <https://www.magicalir.net/4055/mail/index.php>